



# New York Symphonic Ensemble

in 横浜 ~輝くニューヨークの音色~

## 2014年7月11日(金)

鶴見区文化センター サルビアホール

開場 18:30 / 開演 19:00

入場料 ¥4,500 (全自由席)

前売り 一般 ¥4,000 学生 (大学・高校・中学生) ¥3,000

小学生以下 ¥2,500 ※乳幼児の同伴・入場はご遠慮ください。

指揮・音楽監督 **高原 守**  
Mamoru Takahara

ヴァイオリン **鈴木健史**  
Takefumi Suzuki

管弦楽 **ニューヨーク・  
シンフォニック・アンサンブル**  
New York Symphonic Ensemble

チケットお申込み・お問い合わせ  
(お問い合わせは NYSE 事務局までお願いいたします。)

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

鶴見区文化センター TEL 045(511)5711

NYSE 事務局 TEL/FAX 045(901)1756

E-mail [suzuberu@i.softbank.jp](mailto:suzuberu@i.softbank.jp)

### Program

ロッシーニ 《アルジェのイタリア女》より序曲

ベートーベン 交響曲第8番 へ長調 作品93

マスカーニ 歌劇《カヴァレリアルスティカーナ》より間奏曲

メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

※曲目を変更する場合がございます。

主催 VIS A VISION 後援 アメリカ大使館



## Profile



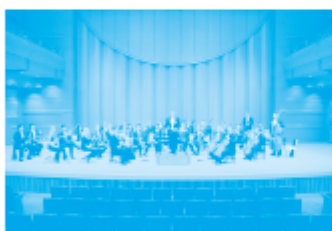
### 高原 守 Memoru Takahara (音楽監督・指揮)

ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル (NYSE) の音楽監督及び常任指揮者。国立音楽大学卒業後レナード・バーンスタインのもとで指揮を学ぶため渡米。その後ニューヨークを拠点に指揮者として本格的な活動を始め、1979年にNYSEの前身であるニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団の音楽監督に就任して以来、指揮者としての活動のみならず、NYSE全体のプロデュース、マネージメントにも携わり中心的な存在とし活躍中。唐招提寺(奈良)、出雲大社(島根)等歴史的建造物で演奏したことは注目され好評を得た。長年の音楽交流による日米親善に貢献した功績により、平成21年度外務大臣表彰を受賞。



### 鈴木 健史 Takefumi Suzuki (ヴァイオリン)

サレジオ学院中・高等部、東京音楽大学卒業後、NYマンネス音楽院に進み、ディプロマ取得。学部長推薦による全額奨学生としてボストン大学大学院に入学。D. オイストラフの高弟マズルケヴィッチ教授夫妻に師事、Director's Award 受賞。ニューヨーク、ボストンにて4回のリサイタル開催。欧米・カナダの音楽祭コンサート出演。同大学大学院修士課程修了。帰国後も数多くのリサイタル、チャリティーコンサートに出演。2012年、東京大学本郷キャンパス一条ホールでの、「東日本大震災と心の平和」被爆ピアノコンサート及び、清泉女子大での「被爆ピアノとヴァイオリンの語り」の2日間にわたる被爆ピアノとヴァイオリンによる2つのコンサートは、話題となり聴衆の感動と共感を呼んだ。2014年、ヤマハホールでの、チャリティーコンサート「ワクチンで子供を感染症から守るために〜」に出演。これまでモーツァルトウム音楽院ヤープ・シュレーダー教授、ミュンヘン国立大学クルト・C・シュテアー副学長(当時)、鷺見健彰、篠崎功子、堀正文、藤原洪雄の各氏に師事。2009年より、ソリストとしてニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル (NYSE) と協演を重ねる。2012年のNYSEとのブラームスのヴァイオリン協奏曲の演奏は、大好評を博した。NYSEとの協演は、今公演で5度目となる。  
オフィシャルホームページ <http://violinconcerto.web.fc2.com/>



### ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル N.Y.S.E (管弦楽)

1979年にニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団として発足後、1983年に現在の名称に改められ、今年で35シーズン目(来日29回目)を迎える。団員はニューヨークを中心に第一線で活躍している演奏家で構成されている。毎年ニューヨークの国連本部で開催されるUN国連表彰式典では、世界中の受賞国の音楽をアレンジした演奏で好評を博している。また若い演奏家を演奏会に積極的に招き広く紹介しており、その育成に熱心なことでも知られる。

### 鶴見区文化センター サルビアホール

横浜市鶴見区鶴見中央 1-31-2 シークレイン内  
TEL 045-511-5711 / FAX 045-511-5712

JR 京浜東北線・鶴見線「鶴見」駅 東口から徒歩2分  
京急本線「京急鶴見」駅 西口から徒歩2分



## Fax Order 045(901)1756

必要事項をご記入して送信してください。FAXを頂いた方に振込口座をご連絡させていただきます。代金のご入金を確認できましたら、チケットを郵送させていただきます。なお、代金の振込手数料はご負担願います。送信いただいた情報は、チケットの郵送、お客様への連絡、公演案内にのみ使用させていただきます。

ふりがな	お振込金額	申込み枚数
お名前	円	枚
ご住所 〒	お客様電話番号	お客様 FAX 番号